



CD-ROM収録先:

【Win】Win Netscape Ver6

【Mac】Mac Netscape6(英語版)

今回の記事では操作方法やウィンドウ構成などについて、すべてウィンドウズ版をもとに解説しています。なお、CD-ROMに収録されたマッキントッシュ版とは別に、12月15日にマッキントッシュとLinuxの日本語版がリリースされています。

www.netscape.com/ja/

新世代ブラウザはIEを超えるか

Netscape の逆襲



前バージョンから沈黙を保つことおよそ2年、幾度かのプレビューリリースの発表を重ねてついにネットスケープ6の正式バージョンがリリースされた。向上を重ねた機能はいまだ荒削りだが、今後のウェブナビゲーションに大きな変革を起こす要素が詰まっている。新生ネットスケープは前バージョン、そしてインターネットエクスプローラ(IE)と比べてはたしてどこまで使えるのか。新機軸と操作性に注目しながら、ネットスケープ6の隠れた機能とその実力を検証する。

編集部



[ナビゲーター編]

とりあえず ネットスケープ6を使う

ネットスケープ6は前バージョンから外見が変わっただけでなく、ナビゲーション機能は多数のツールによって操作性も大きく変わっている。このページではまずブラウザとしての使い方を紹介する。

274ページ▶



[メッセージ編]

メール、ニュース、チャット をシームレスに使う

ネットスケープコミュニケーターではメール、ニュース、そしてインスタントメッセージが1つのウィンドウで表示されるようになった。このページでは統合されたメッセージング機能について紹介する。

276ページ▶



[カスタマイズ編]

徹底して使いやすい 設定にする

ネットスケープ6では機能の増強が図られているぶん、設定項目もまた多岐におよぶ。カスタマイズの一覧やフォームマネージャ機能などを示したので、困ったときはここを参考にしてほしい。

278ページ▶

ネットスケープ6はここが新しい

よく見る情報を『サイドバー』で表示

ニュースやインスタントメッセージなどを毎回新しいウィンドウでチェックするのは面倒だ。ネットスケープ6では重要な情報をナビゲーターの左側に収まっているサイドバー(Sidebar)を使って、見たいときにすぐアクセスできるようになった。

「場所」ツールバーの多機能化

「場所」ツールバー(URL入力フィールド)の右側に「検索」ボタンが登場し、わざわざページを開かなくても検索エンジンを使った語句検索ができるようになったほか、URLの自動補完機能が導入され、多機能化、高機能化が図られている。

インスタントメッセージ機能の統合

これまで付属品というイメージが強かったインスタントメッセージ機能がサイドバーに統合され、メールの読み書きと同じウィンドウ内で表示されるようになった。連絡を取りたい相手に応じてメールとインスタントメッセージを効率的に使い分けられる。

テーマの登場などインターフェイスの改善

これまで単調な色とデザインだった味気ないウィンドウが「テーマ」の導入によってデザインを多彩に変化させられるようになった。またフォームの管理機能によってよく送信する項目を自動的に記入できるようになるなど、使い勝手の向上が図られている。

オンラインインストーラーの導入

Smart Update機能が組み込まれ、インストール時に必要なコンポーネントだけをダウンロードするようになった。これでこれまで20MB以上あったインストーラーを長時間かけて全部ダウンロードする必要がなくなった。

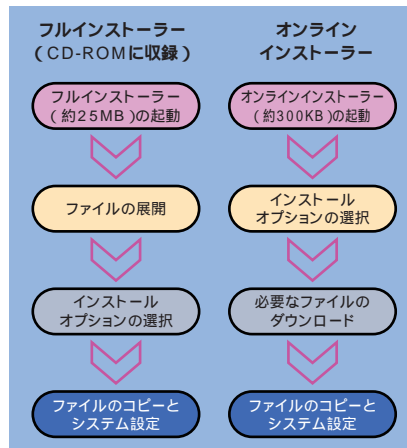
各種標準規格のサポート

オープンソースで開発されてきたGeckoをブラウザエンジンとして組み込み、HTML4.0のほかCSS1やDOMなど各種の標準規格に対応できる表現力が備わり、前バージョンでたびたび指摘されてきた表示に関する問題が改善された。

インストール時のポイント

[CD-ROMからのインストール方法は409ページ]

ネットスケープ6のインストールにあたっては、必要なオプションだけを選んでダウンロードする小型のオンラインインストーラーと、本誌CD-ROMに収録したフルインストーラーの2種類が用意されている。インストールのオプションには大きく分けて「標準」「フル」「カスタム」の3種類がある。インストールできるオプションを細かく設定したいときは以下に示した表を参考にしてほしい。なお、インストール時はバージョン4.xのコミュニケーターとは別に新たなフォルダーを作成するので、バージョン4を残したままインストールできる。



アンインストールの方法

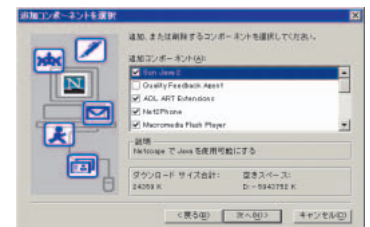
ネットスケープ6は正式版で初めて「コントロールパネル」「アプリケーションの追加と削除」からアンインストールができるようになった。正式版を上書きインストールすると以前のプレビューリリース(PR)版は自動的に削除されるが、インストール先のフォルダーを変更したときなどは手動で削除することになる。参考までにPR版の削除方法を示した。ただし正式版でもNet2PhoneやJREは別途削除する必要がある。

PR版の削除方法

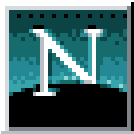
- PR版ネットスケープ6をインストールしたフォルダーを削除
- Windows フォルダにある "mozver.dat" と "mozregistry.dat" を削除
- 「コントロールパネル」 「アプリケーションの追加と削除」で「Net2Phone」「Java2 Runtime Environment Standard Edition v1.3」を削除

インストールオプションの種類と説明

	標準	フル	カスタム		ダウンロード量 (KB)
Navigator				ウェブブラウザ本体 (必須)	7519
Sun Java 2				ナビゲーターおよびメッセージャーなどでJavaを動作させるプラグイン	7577
Mail				メール、ニュースを読み書きする	1240
Instant Messenger				AIM互換のNetscapeMessenger	361
Quality Feedback Agent				ソフトのクラッシュなどをレポートする	243
Spell Checker				メール、ニュースおよびコンポーザーで使うスペルチェッカー	464
AOL ART Extensions				AOL ART形式の画像表示をサポート	373
Net2Phone				北米の電話回線に無料で通話できるインターネット電話ソフト	857
Macromedia Flash Player				Flash形式のムービー表示用プラグイン	179
RealPlayer 8				ストリーミング再生用プラグインとプレーヤーソフト	4560
日本語 (米国) 言語パック				例えば「日本語 (米国) 言語パック」は米国地域で日本語を表示するために使う。	416
英語 (日本) 言語パック					416
英語 (米国) 言語パック					416
HP Printer Identifier Plugin					HPプリンター識別用プラグイン
クラシック スキン				標準の「モダン」に変えて外見をコミュニケーター4.x風にするテーマ	366



インストール時に「カスタムセットアップ」を選択すると、このようなチェックボックス形式でインストールオプション画面が表示される。標準ではJavaがインストールされないため、必要なときはフルインストールまたはカスタムインストールを選ぼう。

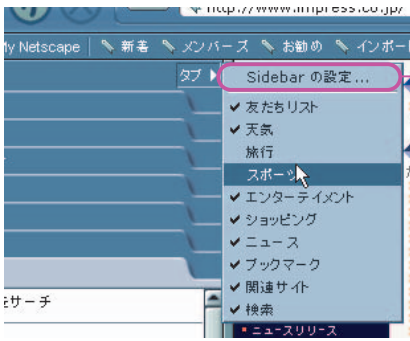


新しいインターフェイスにひそむ機能を100パーセント引き出せ!

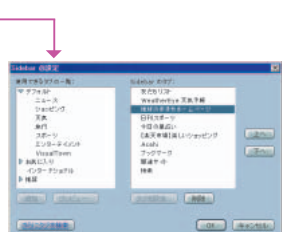
ネットスケープ6を起動してまず気付くのは大きく変わったインターフェイスだ。「テーマ」の変更によってさまざまなデザインを適用できるという外見上の変化以外にも、サイドバーや検索、翻訳機能などブラウザとしての補助機能が大幅に追加、統合された。まずはナビゲーターの機能を1つ1つ確かめていこう。

ナビゲーター編① 「マイサイダー」を活用する

「サイドバー」はユーザーにとって重要な情報を常に入手できるようにするためのスペースだ。あらかじめ用意されているニュース、スポーツ、天気などのほか、旅行や占い、そしてブックマーク管理やキーワード検索、インスタントメッセージなどを表示できる。これらの中から必要なものを組み合わせて数枚のタブを「マイサイダー」としてウィンドウの左側に表示させれば必要な情報にすぐアクセスできる。サイドバー自体の表示、非表示もワンクリックで切り替えればよいので、広いウィンドウでウェブブラウジングに集中したいときにも困らない。



上部の「タブ」をクリックするとよく使われる「デフォルトタブ」が一覧表示され、タブの表示、非表示を選択できる。

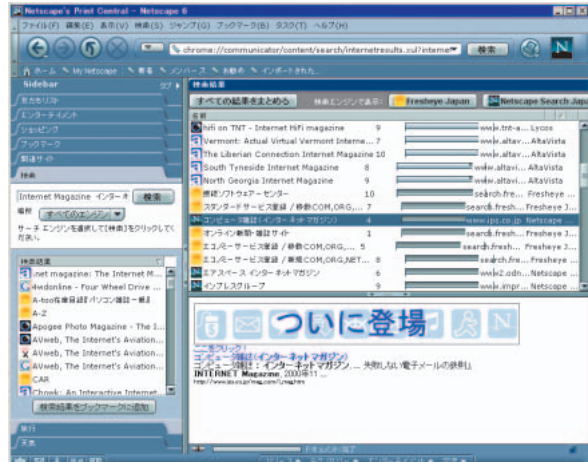
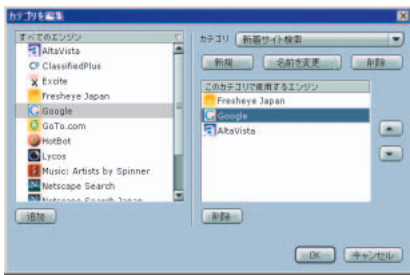


メニューに表示されるタブ以外にも、「サイドバーの設定」でさまざまな機能を持ったタブが追加される。国際化バージョンを含めるとその数は400以上。

サイドバーは複数設定できるが、内容を表示できるのは1種類だけだ。見たいタブをクリックすると、それまで隠れていた目的のタブがスライドして表示される。

ナビゲーター編② 検索機能もサイドバーで

サイドバーの中の「検索」タブを開くと、複数のサーチエンジンにまたがったキーワード検索ができる。検索させるサーチエンジンを全リストから選ぶだけでなく、「Music」や「Tech News」などのカテゴリがあらかじめ用意されている。また複数のサーチエンジンをまとめて1つのカテゴリとして登録できるようにもなっている。



検索サイドバー。国内外のサーチエンジン13種類の中から組み合わせてキーワード検索を行う。「場所」のプルダウンメニューから「カテゴリを編集」を選び、使いたいサーチエンジンのみをまとめておくと検索しやすい。

検索結果はサイドバーの下側に表示されるほか、メインウィンドウにも表示される。検索した項目をダブルクリックすればメインウィンドウにページが表示されるが、サイドバーにも検索結果が残るので、目的のサイトを再び検索結果から探すときにページを行き来する必要がない。



ツールバーの表示切り替え
ツールバーは左端をクリックすると折りたたまれる。メインウィンドウを広く使いたければ「表示」メニューでツールバーをまったく表示しないようにもできるが、必要なときに表示しやすいこちらのスタイルのほうがおすすめです。

ホームボタン
場所ツールバーのURLの左側にあるアイコンを「ホーム」ボタンへドラッグアンドドロップするとそのページがホームページ（起動時に表示するページ）となる。

マイ サイドバー
折りたたみ 表示
サイドバーの折りたたみ
左右を区切る枠の中央付近をクリック（マウスカーソルが手のマークに変わる）すると、表示中のサイドバーをたたんで左端に隠す。もう一度クリックすると再び表示される。

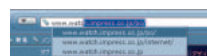
ユーザー設定ツールバー
戻る(ALT +)
進む(ALT +)
更新(Ctrl + R)
中止(Esc)

場所ツールバー

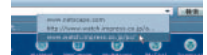
- ① 検索キーワードの入力
- ② 「検索」をクリック



入力語のキーワード検索
「インターネット」「20世紀」などの日本語を入力して「検索」ボタンを押すと、あらかじめ設定した検索エンジンで検索してくれる機能。「検索」サイドバーを開いていなくても同様の検索結果を得られる。



URLの入力補完
URLの入力中、過去に入力したURLの中から入力中のURLに合致するものをコンテキストメニューで表示し補完する。



「場所」ツールバーの履歴
右端の逆三角形の部分をクリックすると過去にこの欄で手動で入力したURLの履歴がメニューで一覧表示される。



印刷(Ctrl + P)
ボタン右下の「プリントプラス」などのメニューから印刷用サプライ品の購入や印刷サービスのページを表示できるが、残念ながら現在は英語のみのサービスとなっている。

ステータスバー

オンライン、オフラインの状況表示と切り替え
左下のアイコンをクリックするとオフライン作業に切り替わる。

セキュリティマネージャー
鍵のマークはSSLなどによって暗号化されたサイトであるか否かを表示する。ダブルクリックするとパーソナルセキュリティマネージャーが起動し、ウェブページのセキュリティ情報の参照や警告メッセージの表示の有無の設定などができる。

タスクバー

- ① ナビゲーター(Ctrl + 1)
- ② メール(Ctrl + 2)
- ③ インスタントメッセージ(Ctrl + 3)
- ④ コンポーザー(Ctrl + 4)
- ⑤ アドレス帳(Ctrl + 5)

その他のタスク
「航空券予約」や「シェアウェア」などおすすめのコンテンツがあらかじめプルダウンメニューで引き出せる。「交流」メニュー以下にある「カレンダー」や「WebMail」などのサービスもすぐにアクセスできる。



ナビゲーター編 ③

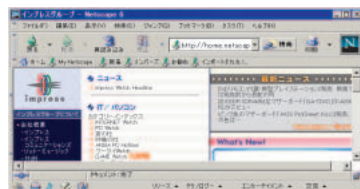
「テーマ」で外見を変える

ネットスケープ6はウィンドウデザインが一新され、「モダン」というテーマ(スキン)が標準で使われているが、「表示」メニューの「テーマの適用」でバージョン4風の「クラシック」などのデザインにも変更できる。また、「新しいテーマを取得」メニューから「Theme Park」にアクセスしてさまざまなテーマをダウンロードできる。



テーマの一例。ウィンドウの外見だけでなく、ダイアログボックスやヘルプのカラーデザインまでが徹底的に書き換えられる。日頃使っているブラウザのデザインに飽き飽きしている人にとっては魅力的な機能だ。

「表示」「テーマの適用」「新しいテーマを取得」で「Theme Park」にアクセスする。ここにリストアップされたさまざまなテーマは「テーマをインポート」をクリックするだけでダウンロードしてインストールできる。



ホームページの翻訳機能

- [表示(V)] [翻訳(T)]
- ・ウェブページから翻訳できる言語
- 日本語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、中国語(簡体字および繁体字)

ホームページ翻訳は、Alis TechnologiesのGist-In-Time™ サービスを用いている。基本的には英語から、または英語への翻訳が可能で、日本語のページを直接フランス語に翻訳するようなサービスは現在提供されていない。翻訳精度はまだまだといったところだが、画面上部の「オリジナルを見る」ボタンで翻訳前のページに切り替えて表示できる。

www.gist-in-time.com



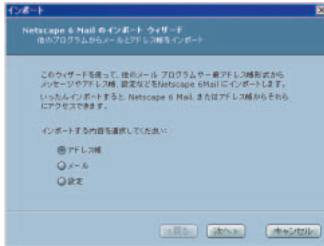


メールもチャットも1ウィンドウで
メッセージをより機能的に

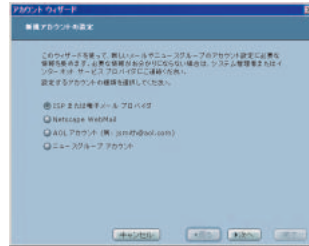
ナビゲーター以上に統合が進んだのがメッセージング機能だ。複数のメールアカウントやニュースグループ、そしてサイダーに収まったインスタントメッセージが1つのウィンドウに表示され、コミュニケーション機能を集中して管理する。ここでは生まれ変わったネットスケープメールに焦点をあてていく。

メッセージ編 ① 複数アカウントをまとめるメール機能

ウィンドウ左側の「メールフォルダ」には、アカウントごとに分けられたフォルダが並んでいる。アカウントを追加すると個別のサーバー設定が設定項目に加わる。アカウントウィザードで最初に設定した内容を変更するときは各アカウントの項目を開いて設定しなおそう。なおメールとニュースのアカウント設定は通常の設定と異なる項目として別途メニューが用意されている。



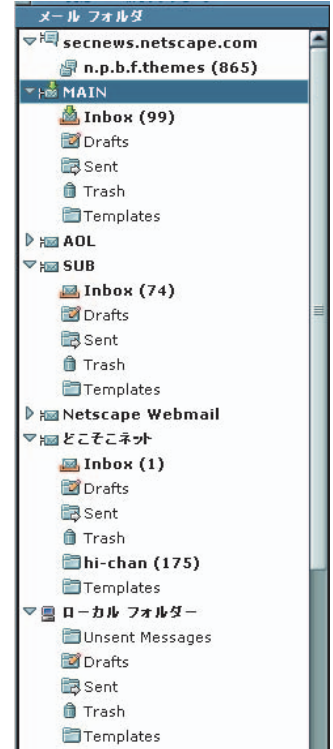
「ファイル」メニューの「インポート」からインポートウィザードを起動したところ。ウィザードに従ってアウトルックやEudora、ネットスケープメッセージャーなど他のメールソフトのメールボックスやアカウントの設定、アドレス帳を変換する。



新たにアカウントを追加するには、「ファイル」メニューの「新規作成」「アカウント」を選択し、アカウントウィザードを起動する。最初は作成するアカウントの種類を選び、サーバー名やメールアドレスを記入して設定する。



一定時間ごとにメールの確認をするように設定しておくと、新しいメッセージが到着したときにタスクバーに新しくメールが届いたことを示すマークが表示される。



ネットスケープ6では複数アカウントの使い分けができ、アカウントを追加するたびにフォルダツリーが作られるようになった。ニュースグループの購読やPOP(またはIMAP)メールアカウントのほか、AOLやNetscapeWebMailにも対応している。

メール/ニュースアカウントの設定(「表示」メニュー)

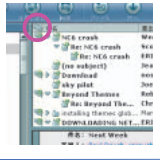
カテゴリ	項目	設定内容
アカウントごとに設定する項目		
アカウントの設定	アカウント名	アカウント名
	個人情報	名前 電子メールアドレス 返信アドレス 組織 添付署名 HTMLメッセージ作成オプション
サーバ設定(メール)	サーバ設定	ポート 新着メッセージの確認 自動的に新着メッセージをダウンロードする サーバにメッセージを残す ローカルでメッセージを削除したらサーバ側でも削除する メッセージダウンロードの制限 終了時にごみ箱フォルダを空にする
		サーバ設定(ネットニュース)
共通の設定項目		
コピーとフォルダ	メッセージ送信の際に自動的に実行するオプション	次の場所にコピー Bcc <アドレス> Bcc <他のアドレス>
	特別なフォルダ	メッセージ下書き保存先 メッセージテンプレートの保管場所
送信(SMTP)サーバ	SMTPサーバ	サーバ名 ユーザ名

Mailツールバー

- 1 メッセージを受信 (Ctrl + T)
- 2 新しいメッセージを作成 (Ctrl + M)
- 3 返信 (Ctrl + R)
- 4 差出人とすべての受取人に返信 (Ctrl + Shift + R)
- 5 メッセージを転送 (Ctrl + L)
- 6 メッセージを別のフォルダーへ移動
- 7 次の未読メッセージを表示 (N)
- 8 メッセージ (またはフォルダー) を削除 (Del)
- 9 表示中のメッセージを印刷 (Ctrl + P)
- 10 メッセージの受信や表示を停止 (Esc)

メッセージのスレッド表示

メッセージ一覧の左上にあるアイコンをクリックするとメッセージがスレッド表示に切り替わる。もう一度同じ部分ををクリックすると一覧表示に戻る。

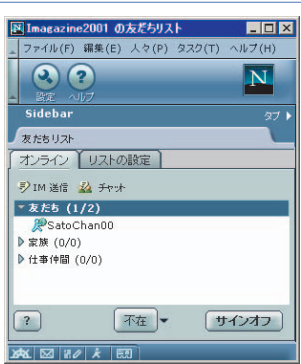


スペルチェック

Mail ツールバーの「スペルチェック」機能を使うと、作成中のメッセージをチェックし、スペルミスが修正候補付きで指摘される。

Mail ツールバー (メッセージの作成)

- メッセージを送信
- アドレス帳を参照
- 添付ファイルの選択
- スペルチェック (Ctrl + K)
- メッセージを保存 (Ctrl + S)



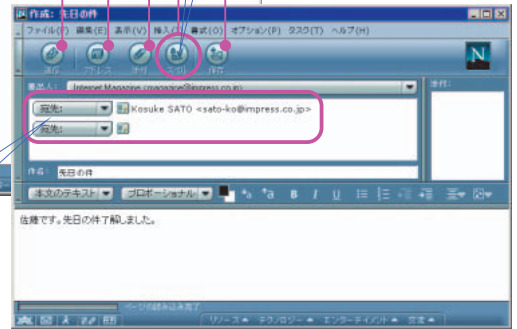
インスタントメッセージのみ表示

サイドバーでの表示以外にも、タスクバーからインスタントメッセージを起動すると小さなウィンドウでインスタントメッセージ機能のみが表示される。



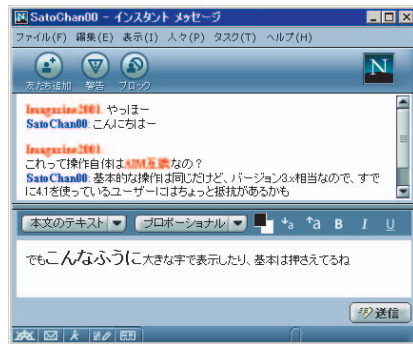
宛先入力欄

プルダウンメニューで宛先、Cc、Bcc などから送先を決定したあと、メールアドレスを入力していくと、「集積アドレス帳」に記載されているメールアドレスの中から自動的に入力が補完される。



メッセージ編 AOL 互換の Netscape Messenger

インスタントメッセージ機能はネットスケープ コミュニケーター 4.75 に付属していた AOL インスタントメッセージとほぼ同じだ。チャットログが残らないのですでに日本語版のバージョン 4.1 を使っているユーザーにとってはやや物足りないかもしれないが、利用ユーザーごとに複数のスクリーンネームを切り替えて使えるほか、友だちなどをチャットルームに招待して 3 人以上でも会話ができる。



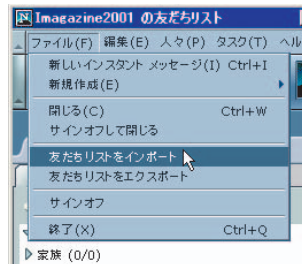
相手がオンラインなのがわかっていて、すぐに済むような用件のときは、相手が確認するのを待たなければならないメールよりも手早く用件を片づけられるインスタントメッセージを活用しよう。

自動収集するアドレス帳

3 分割デザインとなったアドレス帳では、サイドバーを表示したりメインウィンドウで詳細を一覧したりできるようになった。「集積アドレス帳」には、受信したメールの発信元が集められており、これをもとに個人用のアドレス帳にコピーして情報を追加編集できるほか、メール作成時に宛先や Cc の欄を自動補完するようになっていいる。なお、この収集機能は設定メニューで無効にできる。

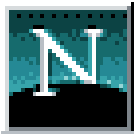


「チャット」ボタンをクリックすると、3人以上で話し合えるチャットルーム機能が利用できる。チャットルームウィンドウは長時間のチャットでも必要な情報を逃さないように、サイドバーが付いている。



「ファイル」メニューには「友だちリスト」をインポートしたりエクスポートしたりする項目も用意されている。

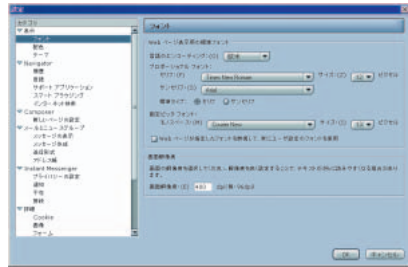




詳細設定と個人情報管理で
使い勝手を向上させる

カスタマイズ編① オプションを極める

ネットスケープ6の設定は多岐におよぶが、「編集」メニューの「設定」ウィンドウを探せばほとんどの項目がカスタマイズできるようになっている。次のページに設定項目の一覧を紹介したが、コンポーネント別に分けられているので、メニューから設定項目を直接開けないときは、この表でどの項目をチェックすればよいかを探してほしい。



「編集」メニュー「設定」で開く詳細設定ウィンドウ。左側のカテゴリーを選択して、右側の各項目の設定を変更する。

カスタマイズ編② 個人情報設定

ネットスケープ6ではフォーム、パスワード、クッキーの管理機能が用意されている。残念ながらクッキーの書き換えなどはできないが、内容をチェックできるほかこれら情報を信用できないサイトとやりとりするのを防ぐオプションがある。

Cookieマネージャ

「タスク」メニューの「プライバシーとセキュリティ」から選択できる。メニューから表示中のサイトで使われるクッキーを受け入れるかブロックするかを設定できる。

保管されているクッキーの一覧と詳細。不要なクッキーを選択して削除できる。「Cookieサイト」タブではメニューから選択して受け入れ/ブロックを設定したサイトの一覧が表示される。

パスワードマネージャ

サイト	ユーザ名
calendar.netscape.com	Imagazine
rps.ana.co.jp	5063910085
rps.ana.co.jp	5063410085
ureg.netscape.com	Imagazine00

入力したパスワードを記憶させているサイトの一覧。認証が必要なサイトにログインするときここで保存されているユーザー名とパスワードを使い、入力の手間を省く。

「パーソナルセキュリティパスワード」はパスワードマネージャを利用するときに入力する管理用のパスワードだ。自動でパスワードを入力されると困るときにはここでパスワードを設定しておくことよ。

フォームマネージャ

入力したフォームを「編集」メニュー「フォームデータを保存」で記憶させておくと、次回以降、「フォームを前もって記入」で記憶内容をフォームに自動入力してくれる。「事前記入フォームデータ」ウィンドウに表示された各項目をプルダウンメニューで選択して別の内容を記入したり、空欄にしたこともできる。

機能強化を図ったネットスケープ6では多数の設定項目が追加され、メニューやツールバーのあちこちにカスタマイズ機能がちりばめられた。また注目したいのはフォームデータやクッキーなどナビゲーターで取り扱う個人情報を管理する機能が搭載されたことだ。ここではカスタマイズに不可欠な設定や管理にまつわる事項を紹介しよう。

ネットスケープ6の設定項目(「編集」メニュー「設定」)

カテゴリ1	カテゴリ2	設定項目	説明
表示		Netscape6の起動時に開く	ネットスケープ6を起動したときに開くコンポーネントをナビゲーター、コンポーザー、メールから設定する。
	フォント	Web ページ表示用の標準フォント	ウェブページ表示用の言語とエンコーディング、使用するフォントなどを指定する。ウェブページが指定するフォントを無視してここで指定したフォントを強制的に使うオプションもある。
		画面解像度	フォントを表示する際の解像度を指定する(基本設定は72dpi)。
	配色	文字と背景	ウェブページに色の指定がない場合の文字と背景の色を指定する。「Windowsの配色を使用」オプションでシステム色を使用することも可能。
		リンクの色	色の指定が無い場合のリンクの色を指定する。「リンクに下線を引く」のオプションもここにある。
		Web ページが独自の配色と背景を提示する場合	ウェブページ内で指定されている配色を常に使うか、この項目内の「文字と背景」、「リンクの色」の指定色を強制的に適用するかを設定する。
	テーマ	インストールされているテーマ	インストール済みのテーマが一覧表示され、選択したテーマをプレビュー表示しながらテーマを適用。
Navigator		Navigatorの起動時に開くページ	ナビゲーターを起動したときに表示するページを指定する。空白ページ、「ホーム」ボタンで表示されるホームページ、最後にアクセスしたページのいずれかを選択可能。
		ホームページ	ツールバーの「ホーム」ボタンをクリックしたときに表示するページを指定する。表示中のページやファイルをホームページとして設定することも可能。
		ツールバー	ツールバーに表示できる、ブックマーク、ジャンプ、ホーム、My Netscape、Net2Phone、印刷、検索の各ボタンの表示、非表示を設定する。
	履歴	履歴をブラウズしています	過去にアクセスしたページ履歴の保存日数を設定する。「履歴のクリア」ボタンで履歴を一括消去できる。
		場所ツールバーの履歴	場所ツールバーに手動で入力したURLの履歴をクリアする。
	言語	Web ページ用の言語	標準でウェブページを表示する言語を指定する。表示言語の優先順位などもここで設定できる。
		文字コード	標準で使用する文字コードを指定する。基本設定では「日本語(ISO-2022-JP)」となっている。
	サポートアプリケーション	各ファイルタイプを開くアプリケーションを指定	「text/html」、「application/pdf」などのMIMEタイプに対応するアプリケーションが一覧表示され、追加や削除、編集を行う。
		ファイルタイプの詳細	各MIMEタイプの説明と対応アプリケーションを個々に表示する。
	スマートブラウジング	関連sideberタブについて	ウェブページにアクセスしたときに関連するサイトの情報を表示しないドメインを指定する。
		Internet Keywords	場所ツールバーでのインターネットキーワードの有効、無効を設定する。
		場所ツールバー自動補充	有効にするとならば「インプレス」と入力したときに「www.impress.co.jp」が表示される。
		場所ツールバー自動補充	以前に場所ツールバーに入力したURLを記憶し、URL入力時に自動的に補充する機能の有効、無効を設定する。
	インターネット検索	標準のサーチエンジン	場所ツールバーにキーワードを入力して「検索」ボタンをクリックしたときに標準で使うサーチエンジンを指定する。
		検索結果	場所ツールバーを用いた検索で、メインウィンドウへの検索結果表示と同時に検索サイドバーを開いて検索結果を表示するかどうかを設定する。
Composer		[最近のページ] メニュー	「ファイル」メニューの「最近のページ」に表示される、最近編集したページの最大数を設定する。
		ファイルの保存時に次を実行	ファイルの保存時に表中のセルの形式を維持するかどうかを設定する。
		表の編集	セルの挿入、削除時に表のレイアウトを維持するかどうか、Delキーを押したときにセルの全体を削除するかセル内容を削除するかを設定する。
	新しいページの設定	作成者	作成者として作成中のページ内に記述する文字列を指定する。
		標準ページ配色	テキスト、リンク、背景の色と背景に使う画像を指定する。
メールとニュースグループ		一般設定	メールを読み書きするウィンドウのレイアウトを選択する。サイドバーが左上に収まるレイアウトと左側全体をカバーするレイアウトの2種類がある。
		Mail起動ページ	メールを起動したときにメッセージウィンドウに表示する起動ページのURLを設定する。
	メッセージの表示	テキストのみのメッセージ	メッセージウィンドウのフォント、引用テキストの表示スタイル、メッセージの折り返しなどを設定する。「顔文字をグラフィックで表示」を選ぶと「:」が絵文字で表示される。
		言語	メッセージ表示用の文字コードを指定する。
	メッセージ作成	メッセージの転送と返信	メッセージの転送形式を本文形式、添付ファイルのいずれかを設定する。返信時に元のテキストを引用するかどうか、本文の引用文に対する位置を指定できる。
		メッセージの作成	送信前のスペルチェック、8ビット文字を含むメッセージのMIMEエンコード、テキストの折り返し、送信時の文字コードを指定する。
	送信形式	送信形式	HTML形式でメッセージを送信する際に「通常のテキスト形式にする」、「標準テキストのみに変換する」などの4種類から送信形式を設定する。
	アドレス帳	電子メールアドレス集積	ローカルで保存されるアドレス帳のアドレスを自動的に収集する「電子メールアドレス集積」機能のオン、オフおよび集積数を設定する。
		アドレス指定メッセージ	メッセージの宛先を入力する際にアドレス帳を元にアドレスを自動的に補充するかどうかを設定する。
InstantMessenger		メッセージの作成と書式設定	インスタントメッセージの送信時にEnterキーで改行するかどうか、メッセージにタイムスタンプを表示するかどうか、フェイスマークを使用するかどうかを設定する。
		Mail内のInstantMessenger	メールメッセージにオンライン状態を表示するかどうかを設定する。
		メッセージ交換許可の設定	メッセージ交換のルールを設定する。「許可」、「ブロック」の欄にはユーザー名を直接入力する。
	プライバシーの設定	[メールアドレス検索] で公開する項目	「電子メールアドレスで検索」での自分のメールアドレスを検索されたときに、スクリーンネームを公開するかスクリーンネームの所持のみを教えるか、検索結果に表示させないかを設定する。
	通知	サウンド設定	友だちのサインオンやサインオフ、メッセージおよびチャットメッセージの送受信時に鳴らすサウンドファイルを指定する。
		メッセージが届いたら、ウィンドウを点滅させる	インスタントメッセージの受信時にウィンドウを点滅させて届いたことを知らせるかどうかを設定する。
		友だちがチャットルーム入室 / 入室したことを知らせる	友だちがチャットルームを出入りするときにメッセージを表示するかどうかを設定する。
	不在	不在中モードを選択した場合	「不在中」のステータスを選択したときにメッセージを受け取ると不在メッセージを自動的に送り返すかどうか、および受信時サウンドの有効、無効を設定する。
		不在中のメッセージ	不在中のメッセージを一覧表示し、メッセージの追加や編集を行う。
	接続	サーバ	メッセージャ用サーバのホスト名とポート番号を指定する。
		プロキシで接続	プロキシ経由で接続する場合はサーバ名、プロトコルおよび認証を設定する。
詳細		Web ページの解釈を支援する機能を有効にする	「Javaを有効にする」、「NavigatorでJavaScriptを有効にする」、「匿名FTPパスワードとして電子メールアドレスを送信する」、「メールとニュースでJavaScriptを有効にする」の4項目があり、それぞれチェックボックスのオン、オフで設定する。
	Cookie	Cookie受け入れ証書	クッキーの有効、無効を設定する。「保存したクッキーの表示」でCookieマネージャが起動して保存中のクッキーを一覧表示する。
	画像	画像のブロック	ウェブページ中の画像の表示、非表示を設定する。
	フォーム	フォームマネージャ	フォームの記入後にデータを保存するかどうかを設定する。「保存したデータを表示」ボタンでフォームマネージャを起動してデータを管理する。
	パスワード	パスワードマネージャ	ユーザーIDとパスワードの入力が必要なサイトで入力したパスワードを保存し、次回から自動的に入力するかどうかを設定。「保存したパスワードの表示」ボタンでパスワードマネージャを起動する。
		暗号化と隠蔽化	保存されたフォーム、クッキー、パスワードなどのデータにアクセスする際に暗号化するかどうかを設定する。
	キャッシュ	キャッシュサイズの設定	メモリキャッシュ、ディスクキャッシュの区分で数値でキャッシュサイズを設定する。キャッシュ自体のクリアもできる。以前使用したページにキャッシュを利用するかどうかを設定する。
	プロキシ	インターネットにアクセスするためのプロキシの設定を行います	プロキシ名およびポート(または自動プロキシ構成URL)を記述してプロキシサーバを設定する。
	ソフトウェアのインストール	ソフトウェアのインストールとアップデートの管理	プラグインなどのソフトウェアのインストールを自動で行うかどうかを設定する。
	マウスホイール	この設定キーを使用した際のマウスホイールの動きを指定	ホイールマウス使用時のホイールに対応する操作を設定する。Ctrl、Shift、Altキーを併用したときの操作も設定可能。
	デスクトップの総合設定	ファイルタイプ	HTML、XML、XUL、JPEG、GIF、PNGの各形式にネットスケープ6を関連付けするかどうかをチェックボックス形式で設定する。
		インターネットショートカット	http、https、ftp、chromeの各プロトコルで始まるインターネットショートカットの表示の際にネットスケープ6を使用するかどうかをチェックボックス形式で設定する。
		Netscape6が起動されるたびに.....	「ファイルタイプ」、「インターネットショートカット」の各設定をネットスケープ6の起動ごとに確認するかどうかを設定する。

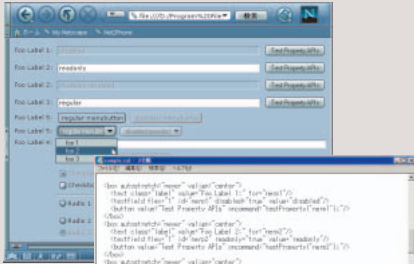
対決!

ネットスケープ6

VS



インターネット エクスプローラ5.5



カスタマイズの自由度を高める XUL

メニュー類のインターフェイスはすべて XUL (XML-based User interface Language) を使っている。サイドバーも仕様が決められており、自作のサイドバーをウェブからインストールして使えるなど、カスタマイズの容易さではネットスケープが大きくリードしている。

勝

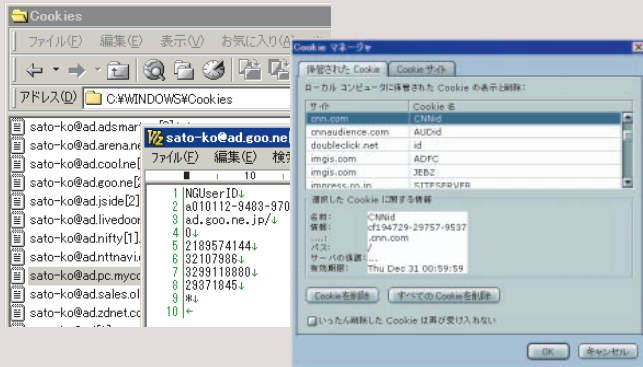
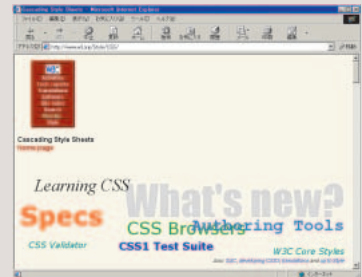
ネットスケープ6の勝ち!

テーマやサイドバーなど、カスタマイズの自由度が高い

Gecko採用によってCSS1など標準規格への対応が進んでいる

Cookie マネージャなど、個人情報管理機能が充実している

1枚のウィンドウに機能が集約されていて使いやすい



Cookie マネージャ

ネットスケープ6はパスワードやフォーム、クッキーなど個人情報に特化した管理機能を盛り込んだのも特徴である。IEでは確認の方法が限られており、直接クッキーファイルを探し出すだけでもひと苦勞だ。

標準規格への対応

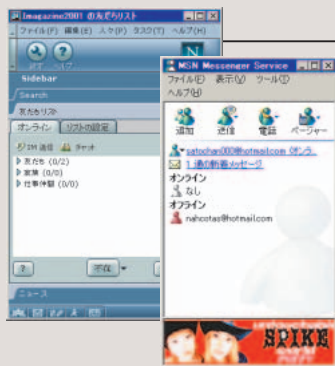
バージョン4で最大の弱点であったCSS1の実装については新エンジン Gecko の搭載によって問題が一掃され、CSS2やDOMなどの対応も強化された。IE5.5でも表示が崩れるW3Cのスタイルシートサンプルが意図したおりに表示される。

<http://www.w3.org/Style/CSS/>

引き分け

軍配は使い手の好み次第

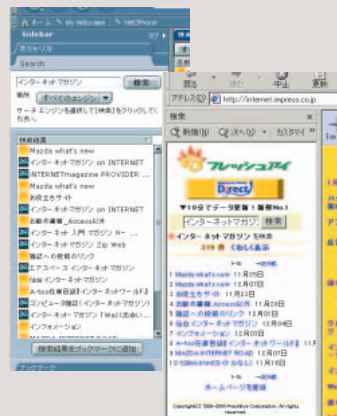
インスタントメッセージ



Netscape Instant Messenger VS MSN Messenger

MSN メッセンジャーサービス
サイドバーで表示できるNIMに対し、IE付属のMSNメッセンジャーは独立したウィンドウを持つ。MSNメッセンジャーはHotmailとの連携も重視されているほか、バージョン3.5でMSNカレンダーとの連携も強化された。単一の機能ではややMSNが有利だが、ユーザー数の多いAIMと互換性があるNIMも捨てがたい。

検索

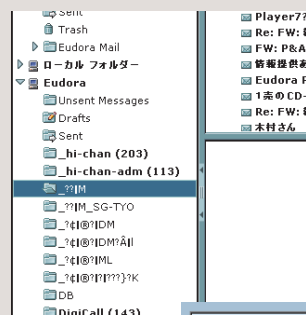


検索サイドバー VS 検索ツールバー

IEの検索ツールバーはgoo、infoseekなど国内の主要なサーチエンジンをカバーしている。検索機能をよく使うユーザーにとっては、サイドバーが対応する海外のサーチエンジンや、複数エンジンでの検索をどう評価するかで有用さの判断が分かれるところだ。



かつてブラウザの代名詞的な存在であったネットスケープが本質的な進化を滞らせた数年の間に、インターネットエクスプローラ(IE)がシェア争いをひっくり返し、いまや標準の座をほしいままにしている。生まれ変わったネットスケープ6の強力な新機能はこの状況を逆転するような力を持っているのだろうか。ネットスケープの強みと弱みをIEと比較してまとめてみた。

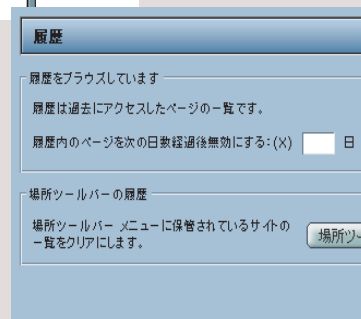


リリースノートに残る多数の不具合
起動や終了時をはじめ、ネットスケープ6の動作はとにかく不安定だ。リリースノートでは最近までに判明したバグについての報告が多数上がっているが、とにかく項目が多い。安定して使うことを最優先するならば、もうしばらくバージョンアップを待ったほうがよい。



ネットスケープ6の負け

- 正式バージョンの、多数の不具合が残っている
- 日本語へのローカライズがまだ不十分で、わかりにくい
- セキュリティレベルを一括して変更する機能が欠けている
- LDAP対応の見送りなど、前バージョンから機能がダウンした点も



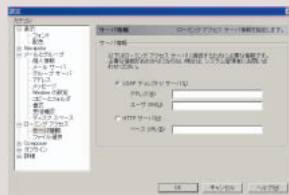
日本語対応はいまひとつ

メールやプロファイルの変換で失敗したり、ダイアログが時々文字化けしたりするほか、メニューや項目などの和訳にもわかりづらいものがあるなど、日本語化は実用に堪えるレベルではあるが万全とは言えない。PrintPlusや翻訳など各種機能に対応するサービスが日本語に対応していないのも残念だ。



わかりにくいセキュリティ管理機能

ネットスケープ6は個人情報にかかわる設定は充実しているものの、通常のオプション設定とは別に設定メニューがあり、IEのセキュリティ設定のような一貫した管理機能という点では、いまだに充実しているとは言いがたい。



LDAPには未対応

バージョン4では使えたLDAP機能は現在のところ利用できない。今後の対応をアナウンスしているが、これまでメールアドレスの管理に外部のデータベースを利用していたユーザーにとっては非常に残念だ。画面はネットスケープコミュニケーションター4.7.5の設定画面です。



ネットスケープ6の反撃はまだこれから

機能的にはネットスケープ6はIEに追いつきはしたものの、いまだ追いつく勢いにはほど遠い。現在の完成度で「正式版」としてリリースされたのには大いに疑問が残る。基本的な動作の不具合が多すぎるというのは優劣を判断する以前の問題だ。

Geckoはたしかに優れたブラウザエンジンであり、将来的にはPC以外のインターネット家電などへの応用が期待される存在である。

しかしその性能は認めるとしても、表示能力の優位性だけがアピールされるようでは「Mozilla 0.6 **Jump**でも十分だ」ということになってしまふ。翻訳やインスタントメッセージ機能など、ブラウザあるいはメールソフトとしての使い勝手を向上させるツールを積極的に改良していくような姿勢も求められるのではないだろうか。

また一方でIEの幻影(それはかつてのネットスケープの姿ではあるのだが)をそのまま追いつけるインターフェイスだけではなく、OperaやNeoPlanetのようなウィンドウデザインに

注目した改良などにも目を向ける必要もある。「今回はネットスケープ6の負け」と判断する材料のほとんどは、ネットスケープ6がいまだ完成していないからこそ発生した問題であると言い換えられる。つまり今後のバグフィックスと機能強化で洗練が進めば大化けする可能性も十分にあるということだ。

今回は厳しい評価となったが、今後の課題を明確にできたネットスケープの逆襲はこれから始まるのだ。

Mozilla.org
Jump www.mozilla.org



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp